

2月 ちびっこ落語の学校

令和6年2月22日
 椎葉村立
 不土野小学校
 学校HP二次元コード



火災の避難訓練(1/17)

役場の方2名と消防団の方2名に来校いただき、マルチルームから火災が発生した想定で行いました。ろう下に人体に安全な煙を発生させた中を児童は避難していきました。煙があることで先が見えづかったようですが、素早く避難することができました。

その後、消火器を使った消火体験もさせていただきました。火がうまく消えなくて、火の恐ろしさも感じる事ができました。

避難訓練終了後には、2・3年生が消防車や消火ホース等も見せていただきました。ご指導ありがとうございました。



参観日(1/22)

午後から行いました。1年生は算数、2・3年生は国語、5・6年生は道徳（尾向小学校との椎葉村ユニット学習）の授業でした。お家の方々に授業の様子を見てもらって子どもたちは、いつも増して張り切っていたようでした。

その後、保護者の皆様には、学級懇談を行い、学習発表会に向けてのステージづくりをしていただきました。ステージと幕の設置を行いました。職員だけではできないので、大変助かりました。感謝申し上げます。3月の本番に向けて練習をがんばっていきます。ありがとうございました。



給食感謝集会(1/31・2/7)

給食でお世話になっているたくさんの方々に感謝の気持ちを伝える集会を行いました。

31日は給食調理員のみゆき先生、7日はパンを作ってくださっているひえつきグループの皆様です。給食も一緒に食べました。もう一人の調理員であるゆかり先生にも後日感謝の手紙を渡しました。

これからもおいしい給食をよろしく願いいたします。



←31日朝には、給食の仕事に関する絵本の読み聞かせも行いました。

2月

2～3月の不土野小の予定

3月

月	火	水	木	金	土	日
2月19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
新入学児童入学説明会	伝承活動			天皇誕生日		
2月26日	27日	28日	29日	3月1日	2日	3日
			クラブ		スポーツ少年団 お別れ大会	
3月4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
学習発表会予行	全校朝会		学習発表会準備			学習発表会
3月11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
振替休業日 (10日分)			お別れ集会		中学校卒業式	
3月18日	19日	20日	21日		23日	24日
卒業式予行		春分の日 PTA・地区 総会		卒業式前日準備		
3月25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
卒業式	修了式・離任式 子ども会送別会	学年末休業	学年末休業	学年末休業		

※ この通信を作成した段階の予定です。感染症対策やその他の理由で、変更になる場合があります。

～裏面にも記事があります～

表彰されました

「土砂災害防止に関する絵画・作文」に応募していたところ、5年の出口碧煌さんが作文部門で「金賞」、同じく5年の椎葉隼翔さんが絵画部門で「県砂防協会長賞」を受賞しました。2人とも身近なことを題材にしたすばらしい作品でした。

さらに、碧煌さんの作文は、全国の中央審査にも推薦され、最優秀賞の「国土交通大臣賞」に次ぐ、優秀賞の「国土交通事務次官賞」を受賞しました。後日県庁で授賞式が行われる予定です。

右が碧煌さんの作文です。国土交通省のHPに載っています。隼翔さんの絵画も近いうちに宮崎県のHPに載ると思います。(現時点では、まだ載っていませんでした)

また、2/18に行われた村生涯学習フェスティバルの中では「村人権作品コンクール」の表彰もありました。

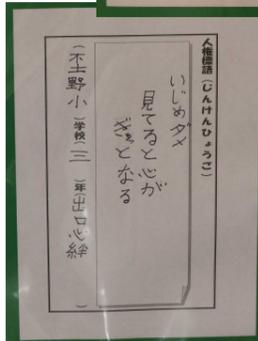
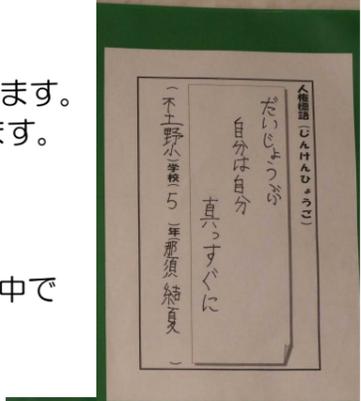
標語部門で、5年の那須結夏さんが「最優秀賞」を、3年の出口心絆さんが奨励賞を受賞しました。結夏さん、心絆さんの標語が右です。

不土野っ子も がんばっています！！

日々の積み重ねが大切だなあとあらためて感じます。



最優秀賞



令和5年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 優秀賞(事務次官賞)

「 椎葉のきずな 」

宮崎県 椎葉村立不土野小学校 5年 出口 碧煌

「もろつかに行けなくなったぞ。」
突然、お父さんがぼくに言ってきた。「え、どういこと。」とぼくはききかえした。
昨年9月、台風14号が宮崎県に上陸した。地いきの人や大人の人「今度の台風は大きいから気をつけた方がいい。」と口にしてるのが聞こえた。別に大丈夫じゃないかなと少し考えるだけでいた。
けれどお父さんの仕事の時間が長く、いつもよりそわそわしていた。その様子を見て本当にあぶないのかもしれないと思った。やっぱりみんなの予想的中、大きな被害をもたらした。
ぼくのお父さんは、椎葉村役場の建設課で働いている。建設課では道路の復旧作業や道路管理をしていて、みんなが安全に道路を使えるようにしてくれている。そして消防団でも地いきの人たちが困った時などにすぐに動いて助けている。ぼくのすんでいる地区は、川がとても近くにあって、山々にかこまれているので少しの雨でも増水したり山がくずれたりする。このような時に地いきの人達と協力して自分達でできることをしている。それを椎葉村では、「かて〜り。」という。
台風14号の時、数えきれないほどの土砂災害が起こり、こりつする人やひなんする人などたくさんの方が生活に困った。ぼくの地区でもたくさんの方が小学校の体育館にひなんしていた。着のみのままの人や子どもだけでひなんした家族もいたそうだ。
ぼくのお母さんはひなんした人たちに必要な物を聞いて買い物に行った。そしてたのまれた人達にとどけた。ぼくのおばあちゃんは家の下にすんでいる。家がくずれるすん前で、保育所にひなんしていた。約1ヶ月も家に帰れないじょうきょうで、日向からおまごさん達も遊びに来ていた。9月には、とてもさむい日があり、長そでが必要だった。だから、ぼく達が小さいころに着ていた長そでや長ズボンなど持っていた。そして、学校の昼休みや放課後におじさん達が少しでも休めるように小学生みんなで遊んであげた。
古枝尾という地いきでは台風がすぎるところ土砂くずれが起きた。椎葉村の中心地に行くために必ず通る地いきだ。ぼくのお父さんにれんらくがきて、家族全員でかけた。近所の建設業の方も来てくれた。建設業の方がショベルカーで車が通れるくらい土砂を除けてくれた。その後小さい枝や石をみんなで川に運び車のタイヤがパンクしないように道路をていねいにキレイにした。雨にぬれながら重い石を運んだので大変だったけれど作業が終わった時にはとても気分がスッキリした。
「よくがんばったな。」という言葉が身にしみた。これが「かて〜り」という事なんだとぼくは思った。
ぼくは将来お父さんやお母さんのように、村づくりに取り組んでいきたい。村づくりに参加すると、きっと村がにぎわって、色々な行事が増えるのではないだろうか。
椎葉村は人口がげん少しているが、特に村出身者の人たちにもどってきてほしいと思っている。移住者も増えてほしいと思う。
みんなの「かて〜り」の心で協力して生きていければ、土砂災害や困った事があっても、のりこえていけると信じている。そして、この「かて〜り」の心を多くの人達に広めていきたい。

子どもの声を聞く会(2/18)

村生涯学習フェスティバルの中で行われました。本校からは6年の那須賢志郎さんが「憧れの選手から教えてもらったこと」という題で発表しました。賢志郎さんの憧れの選手は「大谷翔平選手」です。大谷選手がゴミを拾っていることを知り、賢志郎さんもゴミ拾いを心がけているという内容です。

尊敬している人の行動を自分なりに解釈し実行していくことはとても素晴らしいことです。これからも続けてほしいし、その行動が周りに広がっていくとうれしいですね。

他の学校の児童・生徒の発表もとても素晴らしかったです。



大谷選手グローブありがとう

大谷選手が全国の小学校にプレゼントしてくれたグローブが、不土野小学校にも届きました。全校児童の前で披露すると児童は満面の笑顔で喜んでいました。運動場がぬかっている日にみんなで交代しながら使っていました。大切に扱いながらたくさん使ってほしいですね。



親子ふれあい活動(2/16)

本校では、例年遠足で五ヶ瀬ハイランドスキー場に行きスキー体験をしているのですが、昨年今年とスキー場が閉園しているため実施できません。そこで今回は、山都町の「いちご農園」と道の駅「通潤橋」に行きました。

いちご農園では、いちご狩りの体験を通して、生産者の思いや工夫について知ることができました。道の駅では、販売の工夫等にも触れることができました。椎葉も農産物の栽培や販売に関わる方々が多いので、児童にとっても感じることの多いよい活動になりました。

また、家庭教育学級の活動の一つとして、保護者の皆様にも一緒に行っていただきました。親子でふれあう楽しい機会にもなりました。

